

# 記入例

別記様式（第四号関係）

書類作成日を記入

## 農業経営改善計画認定申請書

令和元年6月1日

川島町長 殿

申請者 住所 川島町大字  
氏名 (印)  
年 月 日生 ( 歳)  
<法人設立年月日 年 月 日設立>

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画					
① 目標とする営農類型	主穀・露地野菜複合経営				
② 経営改善の方向の概要	現在、当地域において県営ほ場整備事業が進行中である。ほ場整備を契機に地区内の遊休農地や兼業農家等から農地を借り受け大型機械化体系を確立して主穀作の規模拡大を図る。主穀作との労力競合の少ない野菜（ブロッコリー）等を導入したい。				
	(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)				
	経営主の数字	現 状	目 標 ( 6年)		
	年間農業所得	2,000 千円	7,500 千円		
年間労働時間	時間	時間			
③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	現 状	目 標 ( 6年)			
	作目・部門名	作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	水稻	250 a	10,500kg	600 a	27,000kg
	ブロッコリー			100 a	1,200kg
	経営面積合計	250 a	/	700 a	/

現状よりも増

5年後の目標

導入予定なので、現状は空欄

③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	区分	地目	所在地 (市町村名)	現 状		目 標 ( 6年)	
	所有地	田 畑	川島町 川島町	200 a 50 a		200 a 50 a	
	借入地	田	川島町			600 a	
	特定作業受託	作 目	作 業	現 状		目 標 ( 6年)	
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	作業受託	作 目	作 業	現 状		目 標 ( 6年)	
		水稻	収穫、乾燥	100 a		300 a	
		単 純 計		100 a		300 a	
		換 算 後		100 a		300 a	
農畜産物の加工・販売その他の関連・付帯事業	事業名	内 容	現 状		目 標 ( 6年)		
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機 械 ・ 施 設 名	型式、性能、規模等及びその台数				
			現 状		目 標 ( 6年)		
		トラクター	30PS	1 台	30・40PS	2 台	
		田植機	4 条植え	1 台	4・5 条植え	2 台	
		コンバイン	3 条刈	1 台	3 条刈	1 台	
		乾燥機	18 石	1 台	18・24 石	2 台	
		動力噴霧機		1 台		1 台	
		野菜移植機				1 台	
		作業場	100 m <sup>2</sup>	1 棟	100 m <sup>2</sup>	1 棟	
		軽トラック		1 台		1 台	
農用地の利用条件	現 状		目 標 ( 6年)				
	小区画で分散している。		大区画で2か所程度に集積する。				
作目・部門別合理化の方向	作目・部門別	現 状		目 標 ( 6年)			
	水稻	品種構成はキヌヒカリ 反収 420kg/10a		良食味米、米粉等の導入 反収 480kg/10a			
	ブロッコリー			野菜移植機の導入			

		現 状	目 標 ( 6 年)
⑤経営管理の合理化に関する目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記記帳していないので、経営の内容が係数的に把握できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン利用による経営管理。</li> <li>青色申告の実施。</li> </ul>
⑥農業従事の態様等の改善に関する目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>休日は、農繁期を除けばほぼ確保できているが研修旅行等は実施できない。</li> <li>決まった休日がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族経営協定の締結に基づく給料制、休日性の導入。</li> <li>休日性の導入。</li> </ul>
⑦ 目 標 を 達 成 す る た め と る べ き 措 置	経営改善の目標	措 置	
	規模拡大 農地集積	ほ場整備事業により大区画、凡用化された水田を兼業農家等から借入規模拡大をはかる。	
	生産方式の 合理化	大型機械体系を確立し農作業の効率化を図るとともに、田植時期を4月下旬から7月上旬に分散し労働力の平準化を図る。 用水、畦畔等の維持管理は地権者に委託する。	
	流通、販売対 策	直売の強化、JA出荷の2本立てを基本に多様な販売手法を導入する。	
	経営管理の合 理化	複式簿記記帳により経営動向の予測、分析を実施する。	
	大規模、高性 能機械の導入	資金の活用	
	新規作目の導 入	ブロッコリー	

	氏名 (法人経営にあつては役員の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあつては役職)	現 状		見 通 し	
				担当業務	年間農業 従事日数 (日)	担当業務	年間農業従事 日数(日)
(参考) 経営の構成	川島 太郎	54	(代表者) 本人	経営全般	250	経営全般	230
	花子	51	妻	経理	100	経理	100
	一男	25	長男	補助	50	オペレーター	100
雇 用 者	常時雇 (年間)	実人数	現 状	人	見 通 し	人	
	臨時雇 (年間)	実人数	現 状	1 人	見 通 し	2 人	
		延べ人数	現 状	50 人	見 通 し	100 人	

1人×50日

代表者は少なくなるのが理想的

(参考) 他市町村の 認定状況	認定市町村名	認定年月日	備 考